

平成28年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	障がい者総合支援法に基づく就労継続支援 A 型事業
事業主体 (連絡先)	株式会社 フジすまいるファーム飯山 長野県飯山市大字照岡 485-イ TEL・FAX0269-69-2055
事業区分	2 保健、医療、福祉の充実に関する事業 6 産業振興、雇用拡大に関する事業
事業タイプ	ハード
総事業費	8,408,600 円 (うち支援金：5,204,000 円)

事業内容

長野県及び飯山市が推進している「農・福連携事業」の一環として、飯山市の基幹産業である「農業」の振興と障がい者が自立した生活を送れることを目的とし、障がい者総合支援法に基づく就労継続支援 A 型事業所「フジすまいるファーム飯山」を設立した。閉校後の校舎の利用、遊休農地の活用、信州伝統野菜「坂井芋」の安定生産など、地域の活性化と障がい者の職域と雇用の拡大に取り組んでいる。

支援金で整備したもの

- ・送迎車 (マイクロバス 26 人乗り)
- ・運搬車 (軽トラック)
- ・遊休農地 70a 開墾

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ・障がい者新規雇用 9 名 (他新規雇用 5 名 計 14 名)
- ・遊休農地を含む 2.8ha を活用し生産活動 (収穫量 36t)
- ・信州伝統野菜「坂井芋」8t 生産・出荷
- ・地域の活性化

主な取り組み

地域の運動会・道祖神祭り・特別支援学校文化祭などへの参加。かまくら祭りへブース出店。飯山雪祭り雪像づくりへの参加など。

福祉事業所としての就労支援の機能を発揮し、雇用の継続・拡大のために日々生産活動に取り組んでいる。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

更なる雇用の拡大と遊休農地の有効活用。農業経営面での課題解消。雪を有効活用した事業を模索。「地域に貢献」と「農・連携事業」を両立したモデル事業をめざす。



【木島圃場にて】

【目標・ねらい】

- ① 障がい者の雇用創出
- ② 遊休農地の有効活用
- ③ 伝統野菜の継承
- ④ 地域の活性化

※自己評価 【B】

【理由】

農業経営の面で不安定であること。冬の仕事の確立が課題。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある